

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.139
2019.5

くしろ丹頂

春季地区懇談会 開催



CONTENTS

- 平成31年度 春季地区懇談会 1
- 釧路丹頂農協青年部 通常総会 2
- 釧路丹頂農協女性部 通常総会 3
- 釧路丹頂農協乳牛改良同志会 定期総会
釧路丹頂農協馬事振興会 定期総会 4
- 第12回 鶴居スプリングショウ
第26回 釧路西部スプリングショウ 5
- 酪農実習体験・感想文 6~10
- 乳質改善PJ情報局 11
- 普及センターだより 12
- JA共済からのお知らせ 13~14
- JAグループ通信 15
- ちょっと一息頭の体操「ナンプレ」 16
- 理事会報告/購買部からのお知らせ/生乳生産実績 17



鶴居村内「ポイ捨てシャットアウト」
当JA職員によるごみの一斉清掃を実施 (4/25)

平成31年度 春季地区懇談会

～農業経営の維持・発展、JA事業運営方針等について協議～



鶴居会場



挨拶する武藤組合長

平成31年度 春季地区懇談会が、4月23～24日の2日間、2会場（白糠・鶴居）で開催されました。

組合員の皆様方には、時節柄何かと大変お忙しい中ご出席頂き、誠にありがとうございました。

懇談事項として、最近の酪農・畜産情勢等、平成30年度事業報告及び決算承認、平成31年度事業計画の設定、第3次地域農業振興計画及びJA中期経営計画の設定、第13回通常総会の招集及び提出議案等について説明がありました。



白糠会場

出席した組合員の皆様方からは、農業経営の維持・発展に向けた体制強化、農協各部門の持続可能な事業運営方針及び機構改革等に対する具体的な質問・意見・要望等が数多く出されました。

今回、組合員の皆様方から出された質問・意見・要望等は今後の事業運営に活かして参ります。

釧路丹頂農協青年部 通常総会



後列左から吉田理事、東監事、照井理事、増田監事
前列左から菱沼副部長、松下部長、伊深副部長、對木理事

J A 青年部新役員

部 長	松 下 雅 幸	鶴 居
副部長	菱 沼 恭 平	鶴 居
”	伊 深 祐 樹	音 白
理 事	吉 田 晃 博	鶴 居
”	對 木 賢 雅	音 白
”	照 井 優	音 白
監 事	増 田 一 真	鶴 居
”	東 直 紘	音 白

3月22日、本所で第13回釧路丹頂農協青年部通常総会が開催されました。

開会にあたり、出席者全員でJA青年組織綱領を朗唱しました。

對木賢雅部長は、「昨年は、春先の牧草の生育に期待はしたものの収穫期の長雨により良質な粗飼料の収穫が非常に難しかった1年でした。また、夏以降の台風、ブラックアウトによる被害が思い返されますがあのような状況の中、皆さんの協力、助け合いにより、被害も最小限に抑えられました。

これから、青年部員の減少に歯止めをかけるべく、若い力をもって皆と協力し活発に活動して参りたい。」と挨拶しました。

議長は、鶴居支部の北村澄男さんが務め、平成30年度事業報告並びに収支決算、平成31年度事業計画他、全議案承認されました。

役員選任では、新部長に松下雅幸さんが選任され、新体制は上記のとおり決定し、総会は盛会裡に終了致しました。

青年部活動としましても、牛乳の無料試飲などを行ない、各単組では、異業種との連携、若手担い手による横のつながりが活発となってきました。



北村議長

釧路丹頂農協女性部 通常総会

第13回 釧路丹頂農協女性部通常総会



後列左から、高原理事、岩田監事、水本監事、塩越理事、吉田理事、佐藤理事
前列左から、よつ葉 広瀬課長、渋谷副部長、武藤部長、長尾副部長、菅原副部長

J A 女性部新役員

部 長	武 藤 和 江	幌 呂
副部長	長 尾 朋 子	鶴 居
〃	渋谷 幸 子	白 糖
〃	菅原 晴 美	音 別
理 事	渡部 しのぶ	鶴 居
〃	塩越 久 枝	幌 呂
〃	吉田 由 紀	幌 呂
〃	高原 ともえ	白 糖
〃	佐藤 まり子	音 別
〃	山崎 雅 江	音 別
監 事	水 本 梨 佳	鶴 居
〃	岩 田 登 美	白 糖

3月18日、本所で第13回釧路丹頂農協女性部通常総会が開催されました。
開催にあたり、出席者全員でJ A女性組織綱領を朗唱しました。

館山順子部長は、「昨年度の活動は、皆様方のご指導、ご協力により各行事を無事に終える事が出来ました。6月の女性部交流会や8月の管内部員交流会ではスポーツ等を通じて交流を深めることが出来ました。9月の胆振東部地震では、全道で停電となり、



水本議長

搾乳が出来なくなるなど大変だったのではないかと察しております。今後におかれましても女性部事業を進めるにあたり、部員皆様方のご協力をよろしくお願い致します。」と挨拶しました。

議長は、鶴居支部の水本梨佳さんが務め、平成30年度事業報告並びに収支決算、平成31年度事業計画他、全議案承認されました。

役員選任では、新部長に武藤和江さんが選任され、新体制は上記のとおり決定し、総会は滞りなく終了致しました。



釧路丹頂農協乳牛改良同志会 定期総会

第13回 釧路丹頂農協乳牛改良同志会定期総会



後列左から、松田理事、清水理事、大坂監事、松下監事
前列左から、植田副会長、林会長、伊深副会長



對木議長

3月22日、本所で第13回釧路丹頂農協乳牛改良同志会定期総会が開催されました。

議長は、西部支部の對木賢雅さんが務め、平成30年度事業報告並びに収支決算、平成31年度事業

乳牛改良同志会新役員

会 長	林 稔幸	西部
副会長	植田 紘史	鶴居
”	伊深 洋平	西部
理 事	松田 浩二	西部
”	菱沼 拓郎	鶴居
”	清水 武志	鶴居
監 事	松下 雅幸	鶴居
”	大坂 隼人	西部

計画他、全議案承認されました。

役員選任では、新会長に林稔幸さんが選任され、新体制は左記のとおり決定し、総会は滞りなく終了致しました。

釧路丹頂農協馬事振興会 定期総会

第13回 釧路丹頂農業協同組合馬事振興会定期総会



後列左から、平田理事、小野田理事、斉藤監事
前列左から、松井紀行顧問、江崎会長、佐藤副会長

4月5日、幌呂支所で第13回釧路丹頂農協馬事振興会定期総会が開催されました。

平成30年度事業報告並びに収支決算、第7回釧路軌馬大会への協賛、平成31年度事業計画他、全議案承認されました。

役員選任では、新会長

馬事振興会新役員

会 長	江崎 勝三	白糠
副会長	佐藤 浩一	音別
理 事	平田 忠幸	鶴居
”	小野田喜一	音別
監 事	斉藤 実稔	幌呂
”	永吉 豊志	幌呂

に江崎勝三さんが選任され、新体制は左記のとおり決定し、総会は盛会裡に終了致しました。

第12回 鶴居スプリングショウ 開催



審査員：
阿部 克寿 氏

4月26日、鶴居村家畜共進会場で第12回 鶴居スプリングショウが開催されました。
釧路丹頂農協乳牛改良同志会鶴居支部主催で、鶴居・幌呂から、計21頭の乳牛が出陳されました。審査員は阿部克寿氏（別海町酪農家）が務め、乳用牛としての体型や資

質を競いました。
審査の結果、グランドチャンピオンに鶴居、レディホープキャピタル（農）清和農場の出品牛ルチツプ（7部）が選ばれました。
主な入賞牛及び出品者並びに受賞者は表のとおりです。

入 賞 牛 一 覧 表

グランドチャンピオン				
レデイホープ・キャピタル・チツプ			(農)清和農場	鶴居
シニアチャンピオン				
レデイホープ・キャピタル・チツプ			(農)清和農場	鶴居
ジュニアチャンピオン				
TKS・デリア・コウチャン・ドーア・ET			清水 武志	鶴居
部	結果	名 号	出 品 者	地区
1部	1位	TKS デリア コウチャン ドーア ET	清 水 武 志	鶴居
2部	1位	TKS ドアマン ヤコプス マーイーサ ET	清 水 武 志	鶴居
3部	1位	S. P ルイスデール リリコ サーマ ET	(農)高 橋 農 場	鶴居
5部	1位	TKS モントレー フェイス	清 水 武 志	鶴居
6部	1位	IF エルムランド マツカ メロメロ ET	増 田 一 真	鶴居
7部	1位	レデイホープ キャピタル チツプ	(農)清和 農 場	鶴居
8部	1位	ヘンドリカ スパーク ロングヌス	(農)清和 農 場	鶴居

第26回 釧路西部スプリングショウ 開催

4月20日、白糠町家畜共進会場で、第26回 釧路西部スプリングショウが開催されました。
釧路丹頂農協乳牛改良同志会西部支部主催で、音別・白糠から、計40頭の乳牛が出陳され、審査員は渋谷健史郎氏（標茶町酪農家）が審査にあたり、デリークイーンは、



審査員：
渋谷 健史郎 氏



入 賞 牛 一 覧 表

グランドチャンピオン					
BS ロイグル ダイチーズ ET			(株)大坂ファーム	音別	
リザーブグランドチャンピオン					
ウツズスター ジュディー シュリンブ タラ			林	稔幸	白糠
ジュニアチャンピオン					
ウツズスター ジュディー スプリム タラ			林	稔幸	白糠
リザーブジュニアチャンピオン					
ウツズスター ジュディー スプラツウーン タラ			林	稔幸	白糠
部	結果	名 号	出 品 者		地区
1部	1位	ウツズスター エンペラー フォーティーン レオ	林	俊 慈	白糠
2部	1位	ウツズスター ジュディー スプラツウーン タラ	林	稔 幸	白糠
3部	1位	HSY レーザ ブルツク スター	細	谷 亮 太	白糠
4部	1位	ウツズスター バレンタイン サーティーン ローズ ET	林	瑠 輝	白糠
5部	1位	ウツズスター ジュディー スプリム タラ	林	稔 幸	白糠
6部	1位	ウツズスター ジュディー シュリンブ タラ	林	稔 幸	白糠
7部	1位	BS ロイグル ダイチーズ ET	(株)大坂ファーム		音別
9部	1位	ハイチヤン スターブライト ゴールド D ロジー ET	(谷)伊深ファーム		白糠

釧路農業改良普及センター 中西部支所の喜多村美花さんが務めました。
審査の結果、グランドチャンピオンに音別、(株)大坂ファームの出品牛BSロイグルダイチーズET（7部）が選ばれました。
主な入賞牛及び出品者並びに受賞者は表のとおりです。



釧路空港での実習生受入式

日本獣医生命科学大学 学外実習受入

2月24日～3月2日及び
3月18～27日、日本獣医
生命科学大学の2年生と3年
生の計9名が来所し、各農
場へ実習に入りました。

受入農場の皆様方、大変
ありがとうございました。
各農場での実習を終えた
感想等につきましては、今
月と次月号の2回に分けて
掲載させていただきます。

貴重な酪農実習体験を終えて・感想文 No.1

※2月24日～3月2日及び3月18～27日、日本獣医生命科学大学の2年生と3年生9名が
来所し、各農場へ実習に入りました。実習を終えた感想文を2回に分けて報告します。

受入先・菊地孝範農場



吉田 一摩 さん

私は、今回の実習で北海
道の酪農の特徴を多く学ぶ
ことができました。今回の
実習は北海道という日本の
酪農の中心であり、なおか
つ本州ではそう経験できる
ことの無い冬の寒さのなか
で実習を受けることで昨年
の夏に行った東京の牧場と
比較して様々な発見をする
ことができました。

を作って飼料を自ら生産す
るなど、北海道ならではの
光景を見ることができまし
た。また、ロールラップを
作するために使用する大型機
械などの設備も充実してお
り、私の想像もつかない規
模で作業が行われていまし
た。

二つ目は寒さ対策のため
の暖房器具です。家の中は
もちろんのこと、搾乳室や
牛舎にもヒーターなどを置
くことで真冬でも問題なく
作業ができる設備が整って
いました。また水槽にヒー
ターを付けて凍結防止をし
たり、子牛に断熱材で作ら
れた服を着用させるなど、
動物に対しての配慮もされ
ていて驚きでした。

三つ目は牧場の中で自給
自足ができています。です。
農場内には濃厚飼料用のデ
ントコーンを栽培している
畑がありました。また農場
内で生まれた牛の半分程は

そのまま母牛として育成し
ているそうです。この他に
も大型の機械で大抵の作業
は農場でできたり、様々な
工具で自分たちで建ててし
まうなど、農場の中でほと
んどのことを回せるのが北
海道の農場ならではの思
いました。

このように北海道の酪農
のことをたくさん知ること
ができました。この体験を
今後の将来を考えるのに役
立てていきたいと思えます。

受入先・(株)夢牧場



慶川 みらの さん

私は、乳牛を扱う農家さ
んにお世話になり、実習を
行うのは今回で2度目だっ
た。初めての牧場での実習
を終えた一昨年の夏からい



つか必ず北海道の牧場へ行きたいと思っていた。その理由は2つあり、1つは「北海道は酪農の本場である」から。もうひとつは一昨年の夏にお世話になった牧場の方々に「いつか北海道に行ってみなよ」と言われていたからである。とにかく牛がたくさんいる、たくさんの方がみんな牧場を経営している、そんな普段の生活からは想像しづらい環境に触れられる機会を今回やっとつかむことができた。

一度牧場での実習を経験しているからと言っても、搾乳の方法やその農家さんの方針、やり方などの違いにより初めて見るもの、する作業が多かった。特に印象に残ったのは、ロボット搾乳機に対する人の動きだ。今回実習させていただいた牧場ではロボットの稼働時間は24時間と1日中であり、牛が自由に出入りできるよ

うになっていた。搾りたいときに入って、ロボットが自動で搾ってくれるの待つというスタイルをとる牛がほとんどだったが、中には足に少し痛みがあったり、年齢的に動くのがあまり好きでなかったり、乳頭の位置が通常とは少し異なりロボットが反応できない個体もいた。ロボットがそれらの個体を一覧としてデータ化してくれることにより、人間がその個体をロボットまで誘導し搾乳を行う。人間はロボットの補助として搾乳の作業に関わっていた。

の牛の反応は様々で驚いて走るように行ってしまう牛もいれば、ぴくりとも動かない牛もいた。人と同じようにそれぞれの個性を持っているため、その牛に合った対応をみつける必要があると感じた。わかってあげられたら、仲良くなれるのではないかと思い、日々の作業に楽しく取り組むことができた。

近所の牧場に見学に行く時間を作ってもらえた。ある牧場では、今使っている搾乳機が古くなってきたため新しいものにしたいが、新しくするととなるとまた別の搾乳場所を設け、そこに新たに組み立てる計画を立てなければならぬとお話ししてくださった。どうして新しく場所を設ける必要があるのか不思議に思ったが、搾乳は牛のことも考えると毎日行うべきもので、新しい搾乳機の設置を並行



齊藤 小春 さん

受入先・植田紘史農場

私は、貴重な10日間を頂けたこと、本当に感謝しています。植田さん家族をはじめ、5人の従業員の方々から、一言では表せないほ



ど多くのことを学びました。1日1日が新しい発見の連続で、充実していました。

牧場は、結果だけみると、搾乳して牛乳となり消費者である私達の元に届くだけだ。何も知らなければ、単純な仕事のように思うかもしれない。今回、私は10日間の実習を通して身をもつて体験し、決して単純ではないと感じた。

A M 5時、外は真っ暗、吐く息も白い寒い中、朝の仕事が始まります。普段なら夢の中の時間帯に、起きられるか当初は不安を感じていたが、身体は自然と慣れていくのを感じました。眠たい眼をこすりながら、搾乳に励む従業員さんを見ていると、私も頑張ろうと奮い立たされます。眠いのは自分だけではないと…。搾乳が終わると、清掃を隅々まで丁寧に行っています。1つ1つの作業にも、

意味がそれぞれあり、欠かすことなく毎日継続していくことが大切なのだと学びました。従業員さんからは、「疲れたね」という言葉がよく耳にするが、面倒くさいとかマイナスイ思考な言葉は決して耳にしなかった。私もそうだが最近はずぐ「面倒くさい」と口癖のように若者は言う。この牧場で働いている人は、大変な時も嫌な顔ひとつせずに自分のすべき仕事に取り組んでいた。1人の従業員の方は、この仕事が好きだと話していた。自分の仕事にやりがいを感じられること、誇りを持つていること。生きていく中で、大切なことを教わったように思う。又、お互いの仕事の進行状況を見て、カバーしあったりなど、助け合いをしていた。効率よく進める為には、誰か1人でも違うことをしていたら上手くいかない。皆

が一体化となってコミュニケーションをとることが大切だと学んだ。

今回のように長期間の実習は、私にとって初めてだった。受け入れてくださった植田さんをはじめ、多くの方に支えられた10日間になったと思う。朝の作業が終わって温かい朝ご飯が用意されていること、昼、夜ご飯をお腹いっぱい食べられること、初心者の方に分かるまで丁寧に説明してくださること、すべてが当たり前のことではない。逆に、当たり前と思ったら、バチが当たるのではないかとと思う…。それくらい、本当によくしてくださった。もし、この実習に行っていなかったら、この幸せを味わうことはなかった。人との出会いは、一期一会というが、まさにこのことだと感じた。

私は、釧路実習に参加し

て本当に良かったと思う。普段何気なく飲んでいる1杯の牛乳、1本の牛乳は、牧場で働く人の、血と汗の結晶である。ただ搾るだけで終わりではない。搾るまでの過程に試行錯誤があり、日々の徹底した管理などが存在する。生き物相手の仕事は、決して楽なものではないと実感した。しかし、大変だからこそ、達成感は大いと思う。この仕事に就いて良かったと自分を誇れるように私の将来もなればいいと思う。牧場で働く人はカッコイイ。今回実習をして、素直にそう思ったし、惚れてしまった。他では体験できない体験が出来て、本当に感謝しています。10日間という短い間でしたが、支えてくださった方々には感謝してもしきれないです。貴重な時間をありがとうございました。



受入先・(有)鈴木農場



齊藤 静乃 さん

私は、3月18日から27日まで北海道鶴居村の鈴木農場で10日間の牧場実習を行いました。今回は5日間ずつに分けそれぞれ朝夕に搾乳・哺乳、昼に牛舎の掃除を行いました。

鈴木農場では子牛に与えるミルクを発酵乳1／4、粉ミルク1／4、お湯1／2の分量で作っていました。分量を量り入れることは、回数を重ねる毎に慣れてきました。お湯の温度を調整するのは難しかったです。ミルクがぬるいと子牛がお腹を下してしまうため、発酵乳と粉ミルクを入れた時点の温度から最後に入れる

お湯を見極められず何度も温め直したりしました。

実習中2度の分娩がありましたがどちらも立ち会うことができず、人の補助もなく母体共々無事に出産を終えることができました。

後半5日間は搾乳を中心に行いました。

私の今までの実習先はすべてつなぎ牛舎であったので、フリーストールの搾乳作業は初めてでした。牛が自ら入ってきて搾乳後の牛舎へ戻っていくメカニズムにも驚きました。牛から一段下がった位置で後ろから作業をしますが、それは私にとって位置が高く、背の高い牛や乳房の大きい牛などにはなかなか奥まで手が届きませんでした。3人の従業員の方に教えていただきながら搾乳を進めていましたが、皆さん牛の後ろ姿を見ただけで個体識別が出来ており、とても驚きました。

今回、ホームステイという形で鈴木重行社長のご自宅にお世話になり、1人で初めて実習を行うということもあり、10日間がとても長く感じてうまく生活していけるのかとても不安でした。しかし社長ご夫婦との時間も心地よく、たくさん場所へ連れて行っていただき、緊張も解れることができました。牧場従業員の皆様にもとても暖かく迎えてくださり、作業のみならず社会に出るための心算等も教えていただき、それを得ることができたと思います。

自分にとって今回の鈴木牧場での10日間の実習はとても貴重で濃い期間になりました。

短い時間ではありましたが、鈴木社長ご夫婦、鈴木牧場の皆様、農協の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございます。

受入先・林 稔幸農場



高橋 萌 さん

私は、林牧場さんで1週間実習させて頂きました。

昨年の夏にも実習で10日間お世話になりましたが、今回の実習は搾乳作業を覚えるというより、今年は就職活動も控えているため、自分の進路を決める上で1番不安であった寒さに耐えられるかどうか、自分の意志確認のための実習でした。寒さの厳しい除角の時期を過ぎてから北海道に来てしまったので、東京に比べて寒かったものの、運が良いことに天気も良く、過ごしやすく驚きました。作業手順を思い出すのに時間はかかりましたが、昨



受入先・(株)佐藤牧場



奥村 美紗 さん

年よりも任せてもらえる仕事が増え、人工授精師さんのお話も伺うことができ、とても勉強になりました。お世話になった家族の方には大変良くして頂き、充実した実習になりました。

私は、牛や酪農に全くと言っていいほど興味がありませんでした。興味を持つようとしていなかった、というのが正しいかもしれません。しかし、せっかく実習する機会がたくさんあるからと希望したのが今回の酪農実習でした。実際に北海道に来ることはたくさんあったのですが、実習をしに行くとなると一気に緊張

するものです。そんな私をあたたく迎え入れてくださったのは佐藤牧場の佐藤さんご家族でした。美味しうご飯に牛乳に面白いお話と退屈しない時間を過ごすことができ、大変お世話になりました。

佐藤牧場では搾乳ロボット、エサ寄せロボットを導入しており、手間がかからないようになっていました。また、近隣の7つの牧場で合同の飼料を使っている、エサのもととなる牧草を育て、収穫し、エサをつくり、配合、配給する流れを自分たちで行うことのないようにしていました。使用する機械も人もまとめて使用、雇うことも時間と手間はかからなくなったと伺いました。しかし、そのフィードセンターで1台の車を買ったり、運営費として飼料1kgあたりの値段が上がったりするので

そのぶんたくさん搾乳しなければなりません。それと同時にロボット搾乳に切り替えたため、さらに必要となり牛を増やしたそうです。パソコン1つで牛の情報を管理しているため、動く手間は省かれましたが、1人の拘束時間はさらに増えたのではないかと思います。それに比べてお邪魔したロボット搾乳でない7つの牧場のうちのある2つの牧場では、搾乳時にとても忙しそうにしていました。そのため、ロボット搾乳と手作業、どちらの搾乳方法が最も優れているのか決められなかったです。どの方法も手間や苦労、時間が全くかからない方法はまだないと思いました。

ロボット搾乳なので1日に行う作業は、古いエサの処理、糞かき、糞よせ、ベツド作り、哺乳、添加剤（塩重曹、飼料）撒き、はき掃除などでした。子牛が多かつ

たので哺乳には苦労しましたが、その分多くの思い出ができました。体調が優れない牛の治療などのお手伝いをさせて頂いたり、たくさん経験させていただきました。自分が哺乳していた牛が亡くなったり、オスだったため市場に連れていかれたり複雑な気持ちになることがところどころありましたが、心に刻むことができました。

その他にも乳牛市場や他の牧場に連れて行っていただいたこと、獣医や人工授精師の仕事を間近で見ることができたことはとても嬉しかったです。疑問に思ったことをぶつけると倍になって返して下さるので10日間でもたくさんのことを学ぶことができました。長いようでも短かった10日間、本当にありがとうございました。

暑熱への準備はいかがですか

搾乳牛は25℃を超えると暑さを感じているでしょう。特に産乳量が高い乳牛は、たくさん食べますから、ルーメン内でエサが発酵する際に大量の熱が発生しています。あたかも体内にヒーターを持って暮らしているようなものですから、外気温が上昇してくると自分の体熱を消散しづらくなり、暑さ（ヒートストレス）を感じます。

人間や馬などの場合は、汗をかくことで熱を蒸散させることができますから、割と効率的に体温コントロールを利かせることができます。しかし牛や犬・猫などは大量の発汗ができませんから、暑さが割と苦手な動物となります。代替として、口を開けて唾液を汗の代わりに蒸散させて、少しでも体



温上昇を避けようと努めます。また体を舐めることもグルーミング

が効果の他に多少なりとも発熱作用があります。いずれも大量の唾液の分泌が必要となりますが、それを支えるには普段以上のガブガブと飲める美味しい水が不可欠となります。

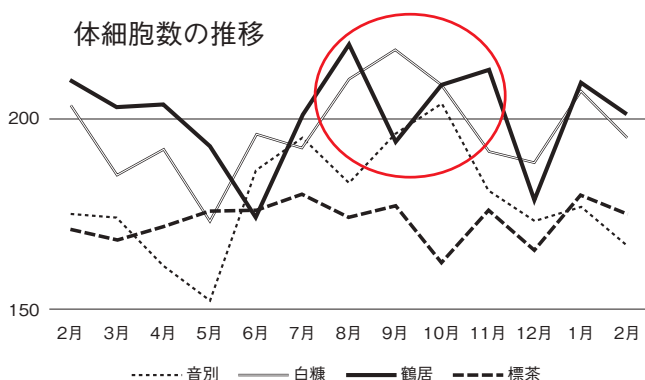
体熱をうまく放熱できないと、体温が上昇してきます。人もそうですが恒温動物が体熱をわずかに1〜2℃上昇、あるいは下降することは大変に危険です。体の深部にある子宮なども顕著に温度が上がってきますから、受胎率は必然的に低下してきます。そして免疫力も低下してくるから、様々な疾病発症リスクが高まります。環境性乳房炎はその代表です。その一方で原因菌にとっては環境温度が高まることなどにより、爆発的に増殖しやすい好ましい（人や牛に

としては好ましくない）環境となります。

つまり人が暑さを感じるもつと以前からすでに始まっている牛にとつての暑熱期は、普段の管理を強化しないと乳房炎の感染リスクが高まることになります。菌の増殖を抑えるために牛床管理のレベルを一段レベルアップし、汚れはもちろん、なるべく乾いた状態を作ってやるのが大切となります。その一方、乳牛の体温をコントロールしやすい環境を提供してやることも求められます。換気扇で牛体に風を当ててやる。あるいはフリーストールの飼槽にソーカーで首付近を肌まで濡らしてやるなどといった諸対策です。特に分娩前後の数日間は一時的な暑熱緩和策をとってやりたいものです。

北海道、釧路は涼しい。それも内地ほど長くはない。確かに全国の気温を単純に比較すればそのとおりですが、乳牛は一日や数日間の気温差にも敏感な

体細胞数の推移



動物です。大きな気温のギャップには苦しみやすく、さらにヒートストレスによる余韻は晩秋まで引きずることもあります。鶴居は釧路管内でも結構暑くなりやすく、過去1年間の乳質の推移（右図）がそれを物語っています。中長期の視点で営農継続を考える上では、暑熱対策は今後より一層強化していきたいポイントです。

※情報提供は釧路農協連より



表1 X町における除草剤散布の委託状況

作付面積 戸数	委託戸数 委託散布	処理別委託割合		
		土壌処理	茎葉処理	土壌+ 茎葉処理
55戸	49戸	53%	27%	20%

釧路管内X町は、とうもろこし作付ほ場の89%が除草剤の散布作業を委託しており、土壌処理のみは、約半数（53%）を占めています（表1）。コントラ（作業委託）による除草

1 コントラクタによる除草剤散布の課題

近年、釧路管内のとうもろこしの栽培面積は増加傾向にあります。栄養収量は年によりばらついており、その要因として強風による倒伏、病害発生、天候不良、雑草の繁茂があげられます。その中から、今回は雑草防除について考えます。

雑草発生に応じた適切な除草剤処理で、収量向上をねらいましょう。

剤散布は、受託する面積が多いため作業が集中します。そのため、
①土壌、気象条件に合わせた散布
②除草剤の適用時期内での散布が困難になっています。

2 モデル農場4戸の実証

そこで昨年、普及センターでは4戸のモデル農場において、除草剤の散布試験を実施しました（表2）。4戸のうち、2戸は土壌処理を、2戸は茎葉処理のみを行い、雑草繁茂状況や収量を確認しました。

土壌処理を行った2戸のうち、A農場では、雑草発生が確認されたため、さらに茎葉処理を行いました。その結果、全戸で除草効果が確認され、そのうち3戸は栄養収量が向上しました。残りの1戸も雑草繁茂による乾物収量減を解消できました。

モデル農場からは「気象条件の厳しい中、予想以上の収量が穫れ、質も良かった。除草剤による防除が要因の一つだと思う。」との声がありました。

表2 モデル農場の除草体系と栄養収量

農場	主要雑草	処理方法 (H29→H30)	TDN収量 (kg/10a)	町平均対比
H	イヌホオズキ	土壌処理→土壌処理	738	108%
A	イヌホオズキ	土壌処理→土壌+茎葉処理	699	102%
S	シバムギ	土壌+茎葉処理→茎葉処理	708	103%
Y	イヌホオズキ	土壌処理→茎葉処理	584	85%
町平均			685	100%

3 実証の結果より

実証の結果から、茎葉処理の有効性が確認できました（写真1、2）。

これにより状況に応じ、作業が集中する土壌処理から一部を茎葉処理に散布方法を転換することで、コントラの作業分散につながる可能性も示唆されました。また、茎葉処理は、土壌処理を行った場合でも、雑草発生状況により、追加することによって、追加することが可能です。

4 まとめ

除草剤の散布方法と、その留意点は、次のとおりです。

①土壌処理を行う場合は、ほ場の碎土・整地を丁寧に行い、適度な土壌水分があるときに散布しましょう。

②土壌処理後の雑草発生が多い場合は、適切な薬剤を選び、茎葉散布の追加を検討しましょう。

③茎葉処理は、雑草の種類を把握し、タイミングを逃さず適期に散布しましょう。



写真1 慣行区



写真2 茎葉処理区

7月27日
Y農場にて



安全確認と予防対策で公道での農機による死亡事故を防ぎましょう!

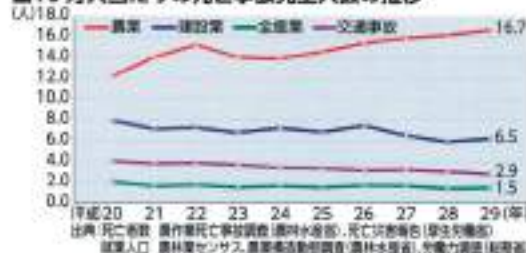
トラクターや運搬車などの操作ミスが転落・横転の事故を引き起こします。

農林水産省の最新の調査データによると、近年300人以上の方々が農作業中の事故で亡くなっています。

グラフからもわかるように、農作業中の死亡事故は一般交通事故の約6倍、建設業の約3倍にも及びます。

農機事故を未然に防ぐために操作時の安全確認と予防対策をもう一度考えてみましょう。

■10万人当たりの死亡事故発生人数の推移



■原因別の農業機械作業に係る死亡者数



詳しい原因、対策は裏面へ...



公道での農機による 死亡事故例から学ぶ 事故の要因と対策



出典：平成29年度 農機事故統計
農機が関与する交通死亡事故の事故形態別件数

事故発生の 要因

公道での農機の死亡事故は大きく**単独事故**と他の車両からの**追突事故**の**2種類**があります。

単独事故

1.用水路等への転落

運転操作ミスや道路環境が悪いことにより、田畑や用水路等へ転落。

2.傾斜地での横転等

農機は通常の車に比べ重心位置が高いため傾斜地等でバランスを崩して横転。傾斜地等で自然に動き始めた農機にひかれる事故。



追突事故

夜間等における追突

夜間は後続車から農機が発見されにくく、追突事故が起こる。昼間のトンネル内でも追突事故の事例がある。



事故防止の 対策

公道での農機による死亡事故対策の**3つのポイント**、対策と準備が重大な事故を防止します。

ポイント 1

確実な運転操作とブレーキ連結の確認

農機による死亡事故は、ハンドルやブレーキ操作ミスによる単独事故が多いため、道路状況等に応じた確実な運転を行いましょう。
道路走行時は必ず左右のブレーキを連結しましょう。
ブレーキ連結をしていないと、ブレーキを踏んだときに急旋回して転落、横転する事故につながる恐れがあります。

ポイント 2

安全キャブ・フレームの装着とシートベルトの着用

救命効果の高い安全キャブやフレームが付いているトラクターを利用しましょう。(安全フレームは倒さずに使いましょう)
トラクター等の農機運転中は必ずシートベルトを着用しましょう。
転落や横転、追突された場合に身体が投げ出されるのを防ぎます。
また、ヘルメットの着用にも努めましょう。
※車種によっては取り付けられないものもあります。



ポイント 3

低速車マークや反射板の取り付け

一般車両との接触や追突を防ぐためには周囲に気付いてもらうことが大切です。後続車から見えやすい位置に「低速車マーク」や「反射板」を取り付けましょう。走行する前に低速車マークや反射板が泥で汚れたり、積載した荷物で隠れていないかチェックを。また、夕暮れ時は早めにライトを点灯しましょう。



農林水産省

警察庁

JA共済

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

JAグループ北海道は、平成31年4月12日、札幌駅・地下歩行空間で開催された「JPO1まつり」で食と農・JAの魅力



を伝えるスマートフォンアプリ「JA2MP（ジェイエイジャンプ）」のダウンロードキャンペーンブースを出展し、400名を超える方々にダウンロード頂きました。

「JPO1まつり」はフリーマガジン「JPO1」に掲載された企業・団体を中心となり出展するイベントで、道内から4JA・1連合会も出展しました。

「JA2MP」配信開始から2年が経ちましたが、ダウンロード総数は20,138（4月12時点）となり、2万ダウンロードを突破しました。



JA北海道信連

JAバンクでは、子どもたちに食や農業の大切さを理解してもらうきっかけとなることを願い、平成20年度から、食農教育等をテーマとした教材本を製作し、JAを通じて道内の小学校へ贈呈しています。今年度は、全道1,059校の小学校および特別支援学校に贈呈します。

なお、本会からは、北海道教育委員会へ教材本の贈呈を行い、教材活用への協力をお願いしました。



北海道教育委員会
教育長(写真右)へ贈呈



ホクレン

ホクレンでは北海道内の料理人らを主な対象にした北海道ナチュ



ラルチーズ特別セミナーを札幌グランドホテルで開催し、道内チーズ工房の生産者による講演やナチュラルチーズの特長を生かした料理の実食、盛り付けの専門家によるデモンストラレーションなどを紹介し、道産チーズの魅力伝えました。

講演では北海道産チーズのレベルの高さや、それを維持していくことの大切さなどが解説され、試食会では道内工房のチーズをふんだんに使った料理レシピ5品が紹介され、ナチュラルチーズの豊かな風味がPRされました。



JA共済連北海道

JAのこども共済「学資応援隊」がママリ口コミ大賞2019春学資保険部門第1位に選ばれました。

「ママリ口コミ大賞」とは、ママ向けアプリ「ママリ」がユーザーを対象に、本当に買ってよかったと思う商品・サービスについてアンケートを実施し、口コミ件数と満足度を基準に支持が多かった上位商品を紹介する取り組みです。

JA共済連は、これからもお客様にご満足いただけるように努めてまいります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非一読ください。





ナンプレにチャレンジ!!

～ちょっと一息～ あたまの体操のコ～ナ～

※問題を解くカギは下に書いてるよ! 気軽にやってみて!!

リフレッシュ
できるかは、
あなた次第!?

5月の問題

2	8	3		1	4	9	5	
	9	5		6		7	4	B
4	6		5		A		1	8
3	4		1	9				
		C		2				D
5	7	6	4		3	1	9	
7	5		9	4			3	
9		1	8		6			7
	2	4			E		F	

キリトリ

★ ナンプレのルール ★

- 【1】 どのタテ一列にも1～9の数字が1個ずつ入る。
- 【2】 どのヨコ一列にも1～9の数字が1個ずつ入る。
- 【3】 区切られた3×3のどのブロックにも1～9の数字が1個ずつ入る。

ルールを言いかえると

- 【A】 どのタテ一列にも**同じ数字は入らない**。
- 【B】 どのヨコ一列にも**同じ数字は入らない**。
- 【C】 区切られた3×3のどのブロックにも**同じ数字は入らない**。



今回の答えは次月号
に掲載するよ!!

4
月
の
答
え

7	6	8	4	9	3	1	2	5
2	5	1	6	8	7	9	4	3
4	9	3	5	2	1	7	8	6
8	1	2	7	3	5	4	6	9
5	7	9	2	6	4	8	3	1
3	4	6	9	1	8	5	7	2
9	3	4	1	7	2	6	5	8
1	8	5	3	4	6	2	9	7
6	2	7	8	5	9	3	1	4

ナンプレ 5月の答え

A B C D E F

--	--	--	--	--	--

住所

氏名

電話番号

ご意見や季節のつぶやきなどの一言をお寄せください。

ペンネーム ()

応募者の個人情報は厳正に管理し本応募以外の目的には使用しません。

・正解者3名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。
 なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。
 《応募方法》 左下の部分を本所 企画管理係までFAX
 (0154-64-2315) をいただくか、切り取っていただき
 各支所の総務係迄お渡しください。
 《締め切り》 2019年6月6日まで
 当選者の発表は6月号にて発表します。
 プレゼントのお渡しは郵送にて発送いたします。



キリトリ

理 事 会 報 告

4月臨時理事会 平成31年4月17日(水)

報告事項

1. (株)ジェイエーコムズにかかる監事監査報告について

議案第3号 平成30年度(第13年度)貸借対照表、損益計算書および注記表並びに全国監査機構の監査および監事の監査報告の承認について

付議事項

- 議案第1号 全中監査(JA全国監査機構監査)の結果について
- 議案第2号 平成30年度(決算)にかかる監事監査の結果について

議案第4号 平成30年度(第13年度)事業報告、剰余金処分案の承認について

議案第5号 第13回通常総会の招集および提出議案の一部変更について

4月定例理事会 平成31年4月24日(水)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 3月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 子会社の決算状況および監事の監査報告について

議案第4号 固定資産の取得について

議案第5号 諸規程の一部変更について

議案第6号 平成30年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の承認について

その他協議事項

1. 「令和2年度(2020年度)酪農畜産政策・価格対策並びに酪肉近計画見直し」に係るJA意見集約について
2. 当面の業務日程について

付議事項

- 議案第1号 融資の承認について
- 議案第2号 不良債権の処理方針について
- 議案第3号 子会社の平成31年度事業計画の策定について

購買部からのお知らせ

6月から、Aコープつるい店、おんべつ店は、日曜日が休業日に変更となります。ただし、祝日は営業致します。

■平成31年度		生乳生産実績(4月)		
	月計乳量(kg)	4月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
JAくしろ丹頂	8,392,530.3	98.7	8,392,530.3	98.7
鶴居地区	3,165,746.6	101.2	3,165,746.6	101.2
幌呂地区	2,218,263.2	101.4	2,218,263.2	101.4
白糠地区	1,664,174.3	97.5	1,664,174.3	97.5
音別地区	1,344,346.2	90.7	1,344,346.2	90.7
管内計	43,186,645.0	98.1	43,186,645.0	98.1
(前年度管内計)	44,020,921.6		44,020,921.6	

編集後記
EDITOR'S NOTE

□新元号が「令和」となり、また新たな時代がスタートしました。安倍総理の説明にもありましたが、万葉集「梅の花」から採用されており、「春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたい」との願いが込められています。日本の四季折々の文化と自然を次の世代に引き継ぐという思いも込められており、新しい時代を気持ちも新たに歩んでいきたいものです。